

文科省・文化庁合唱団「コーロ・アペ」発表演奏会 6年ぶりに開催、田村前団長に届けハーモニー

文科省・文化庁合唱団「コーロ・アペ」(団長・田中義恭・文化庁文化戦略官(総合調整担当))は3月14日夕刻に旧文部省庁舎6階第二講堂で、第28回発表演奏会を開催した。文科省・文化庁内外所属の団員37名が参加した。(34頁に「関連記事」)

コロナ禍により2020年3月に予定されていた発表演奏会を直前に中止するなど、長らく活動休止を余儀なくされていたところ、2023年の8月に活動を再開。コーロ・アペ発表演奏会は、さわやかなハーモニーで虎ノ門界限に春の訪れを告げるイベントとしてこれまで定着してきたが、今回6年ぶりの開催となった。



田中団長は「オーブニング・ステージ」に続き、第1ステージでは昨年3月に急逝した田村寿浩前団長を偲ぶステージとして、亡くなった日にピアノの上に譜面のあった『旅立ちの日』と団で長く歌ってきた『歌よあり



団員37名によるハーモニーに、多くの来場者が魅了されていた

がとう」を天国の亡き田村前団長に届くよう歌った。
第2ステージでは「懐かしい日本の風景」と題し、5年前コロナ禍で中止となった演奏会で演奏を予定していた組歌『四季』と『いつの日か 混声合唱のための童謡メドレー』が演奏され、会場に詰めかけた遠山敦子元文部科学大臣や藤原章夫文部科学事務次官など約100名の来場者が完成度の高い演奏に聴き入った。
第2ステージの終了後には拍手が鳴りやまず、アンコールとして、数々の童謡や唱歌など複数の歌を同時に歌う、志民一成・視学官と河合神和・教科調査官の編曲による『パトナーソングメドレー』が披露され、多くのお客は興味深く楽しみながら耳を傾けた。

◇
団では引き続き団員を随時募集している。練習は毎週水曜日の昼休みと夏以降月一回休日の強化練習を予定している。合唱未経験の方も歓迎のこと。入団の問い合わせは田中団長(文化庁文化戦略官・内線2803)、または庶務担当の梅津さん(国立教育政策研究所研究支援課・内線6812)まで。



指揮の志民一成氏



MCの鈴木佑紀氏



発表演奏会後に記念撮影におさまる(左から)田中団長、大西珠枝氏、遠山元文部科学大臣、神代浩氏